

— 記者発表資料 —

8月30日（土）に開通した C3 東海環状自動車道 ^{もとす}本巣 I C ~ ^{おおの ごうど}大野神戸 I C の 開通 1 ヶ月後の交通状況をお知らせします。

1. 開通区間の概要

【別紙 1】

2. 本巣IC～大野神戸IC開通後の交通状況(速報)

【別紙 2】

- 本巣IC～大野神戸ICの利用交通量は、平均 5,300 台/日
- 開通前後区間の交通量は、約 2～2.5 倍に増加

3. 本巣IC～大野神戸ICの開通効果

【別紙 3～5】

- 飛騨・北陸方面へのアクセス性が向上、今後の更なる移動の活性化に期待
- 開通区間沿線地域では工業地の地価が上昇し、本巣市の地価の上昇率は岐阜県 1 位
- 本巣PAがもとまるパークと連結。もとまるパークの9月の利用者数が2倍に増加

4. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、中部経済産業記者会、岐阜県政記者クラブ

5. 問い合わせ先

●交通状況および期待される効果に関すること

国土交通省 中部地方整備局 岐阜国道事務所

副所長 ^{さみぞ}佐溝 ^{けんじ}健治 計画課長 ^{とよだ}豊田 ^{たけし}剛司 電話 058-271-9815

●高速道路の運営、維持管理に関すること

中日本高速道路株式会社 名古屋支社 広報・CS課 電話 052-222-1183

つながる中部42.6

令和7年夏頃までに開通する各道路事業の整備効果や開通に向けての進捗状況など積極的にPR



2050年、世界一、賢く・安全で・持続可能な基盤ネットワークシステムの実現を目指す

World-class Infrastructure with 3S(Smart, Safe, Sustainable) Empowered NETWORK



●東海環状自動車道は、愛知・岐阜・三重3県の各都市を環状に連結し、東名高速道路・名神高速道路・新東名高速道路・新名神高速道路など一体となって、広域的なネットワークを形成する延長約153kmの高規格道路です。

今回の開通（6.8km）により名神・東海北陸道・中央道・新東名が環状で接続し、東海環状自動車道の開通延長は134.6km（約9割）となりました。

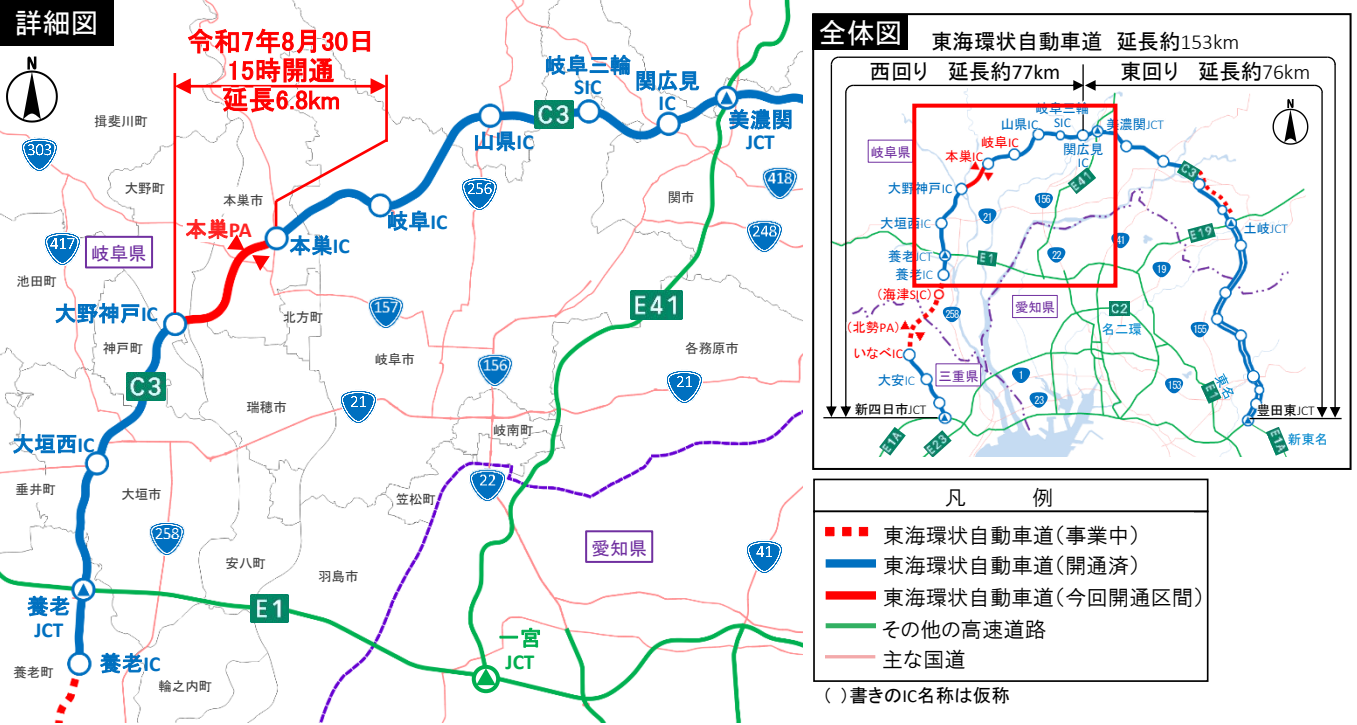
●今回開通したPAの所在地

所在地	もとす ぎふ もとす はの 本巣PA（岐阜県本巣市早野）
-----	--

●今回開通区間の概要

路線名	一般国道475号 とうかいかんじょう 東海環状自動車道
開通区間	もとす ぎふ もとす かのほ おおのごうど ぎふ いび おおの しもいそ 本巣IC（岐阜県本巣市上保）～大野神戸IC（岐阜県揖斐郡大野町下礪）
延長／車線数	6.8km / 暫定2車線

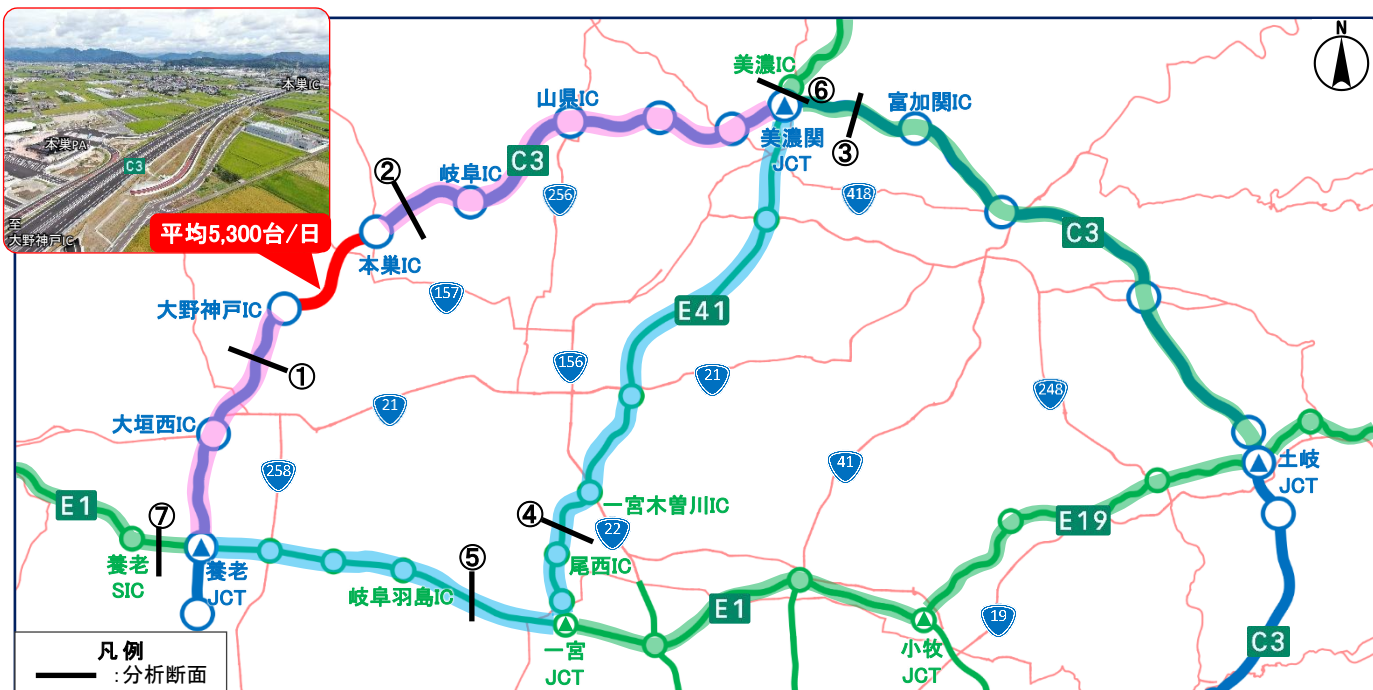
■今回開通区間の位置図・状況



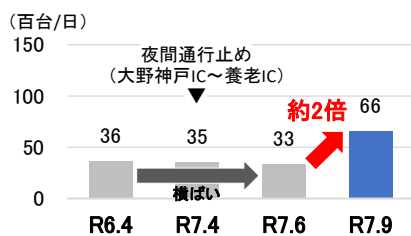
令和7年8月30日
開通セレモニー・パレードの様子

- 開通した本巣IC～大野神戸IC間の交通量は**平均5,300台/日**。
- 開通前後区間の交通量は、**約2～2.5倍増**。
- 東海北陸自動車道との接続部における交通量は**約1.2～1.3倍増**。

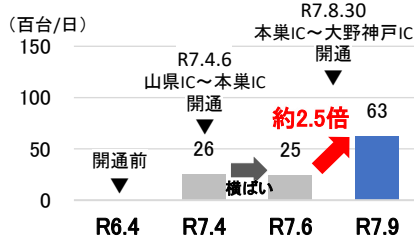
周辺高速道路の交通量の推移



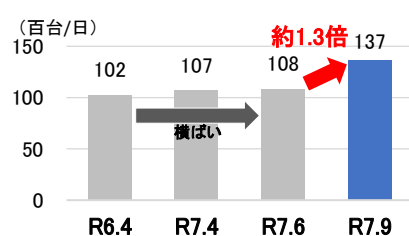
① C3 大野神戸IC～大垣西IC



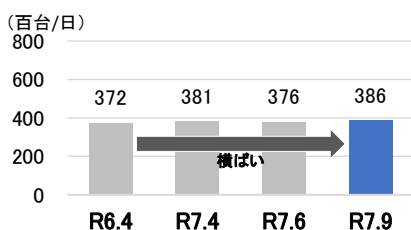
② C3 岐阜IC～本巣IC



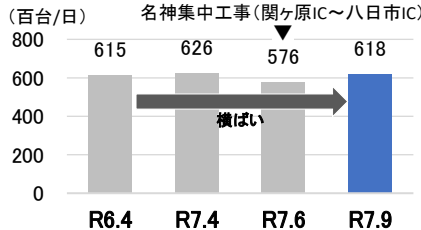
③ C3 富加関IC～美濃関JCT



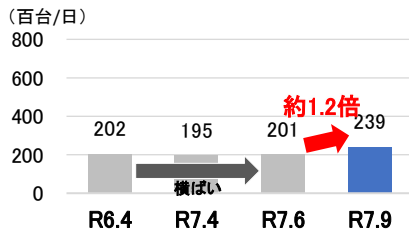
④ E41 一宮木曾川IC～尾西IC



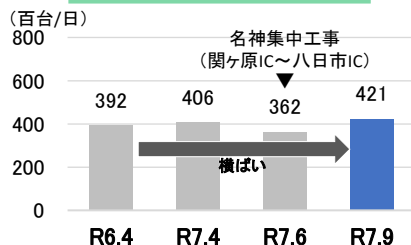
⑤ E1 一宮JCT～岐阜羽島IC



⑥ E41 美濃関JCT～美濃IC



⑦ E1 養老JCT～養老SIC



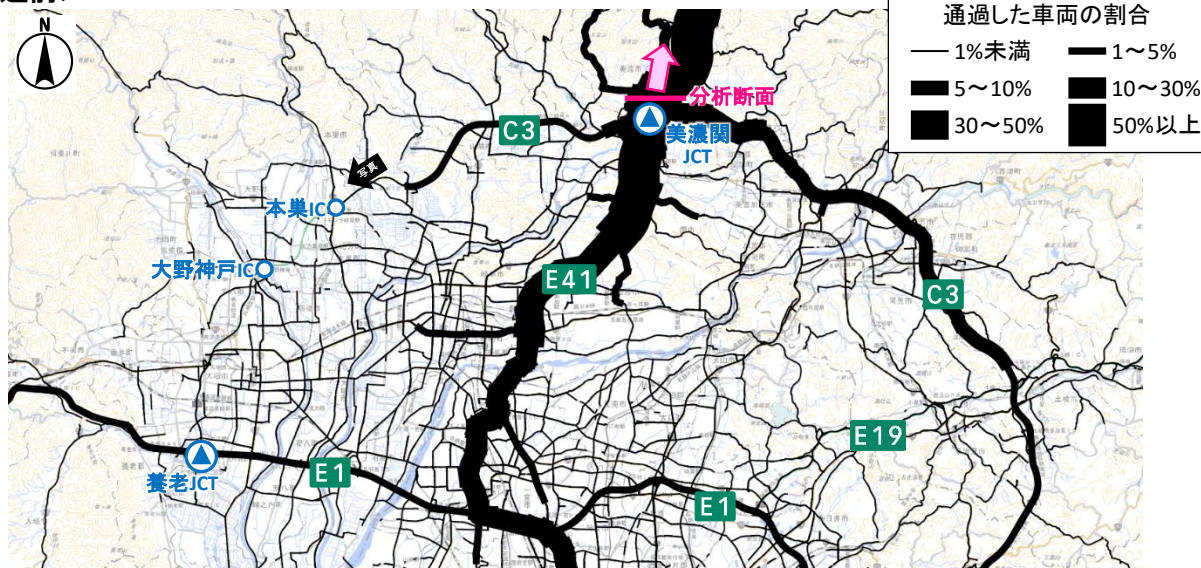
出典: NEXCO中日本提供データより、下記期間の日交通量の平均値を集計
 R6.4 山県IC～本巣IC開通前: 令和6年4月9日(火)～令和6年4月25日(木)
 R7.4 山県IC～本巣IC開通後: 令和7年4月8日(火)～令和7年4月24日(木)
 R7.6 山県IC～本巣IC開通3ヶ月後: 令和7年6月1日(日)～令和7年6月30日(月)
 R7.9 本巣IC～大野神戸IC開通後: 令和7年8月31日(日)～令和7年9月30日(火)

- 今回の開通により、飛騨・北陸方面へのアクセスにおいて、西回り区間（美濃関JCT～養老JCT）の**利用が増加**。

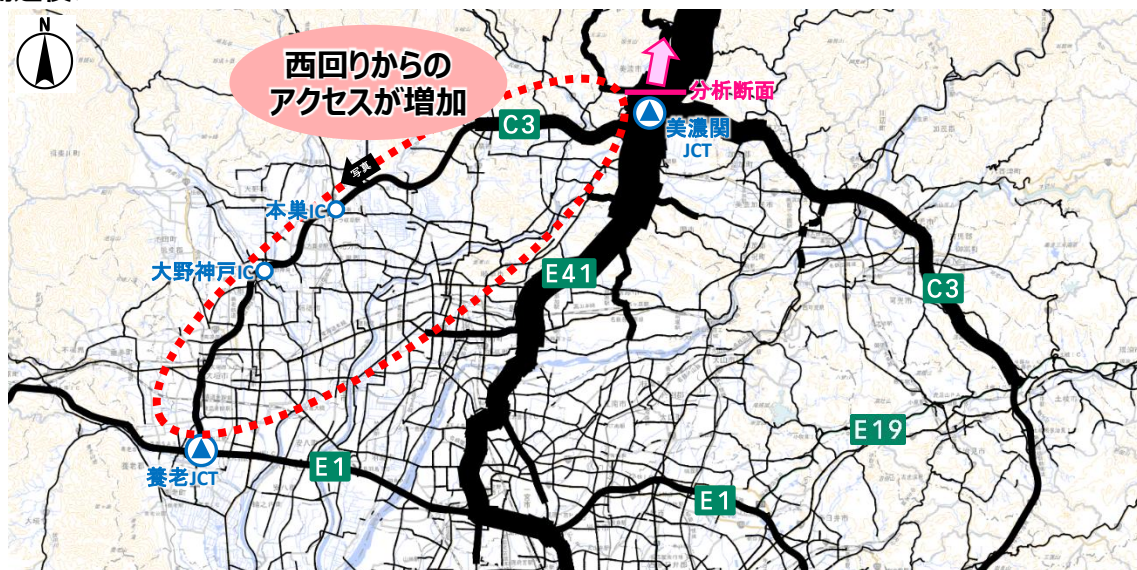
西回り沿線や関西方面からの来訪に、西回り区間の利用が増加

■美濃関JCTを北上する車両の走行経路の変化

＜開通前＞



＜開通後＞



＜開通前＞



＜開通後＞



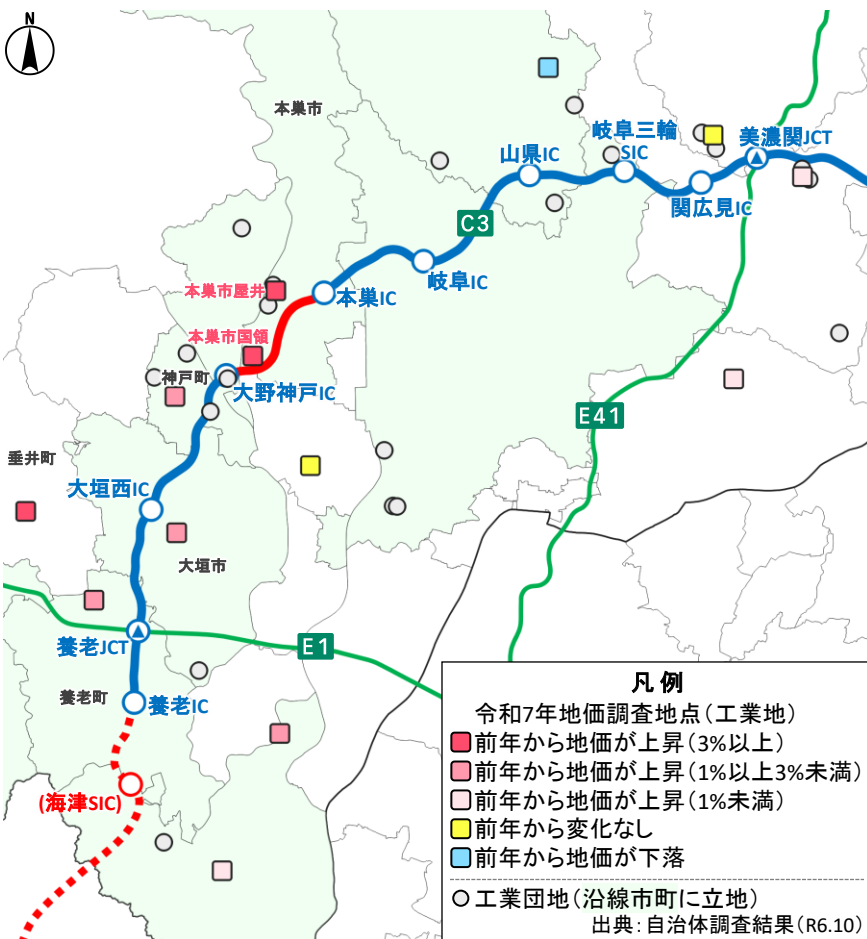
※ 東海北陸自動車道 美濃関JCT～美濃IC間を北向きに通過した台数を100%とし、図中の道路区間を走行した台数の割合を表したもの
出典：ETC2.0プローブ情報、背景地図は地理院タイルを使用

・開通前：令和7年6月29日（日）～令和7年7月12日（土） ・開通後：令和7年8月31日（日）～令和7年9月13日（土）

- 西回り沿線では交通利便性向上の期待から企業誘致が進み、**地価が上昇**。
- 岐阜県の工業地地価の上昇率は**33年ぶりに1%を越え**、本巣市の地価上昇率は**県内1位**。
- インターチェンジ周辺の開発が進むことで、更なる**産業の活性化に期待**。

沿線の工業地の需要の高まり

■西回り沿線の工業地地価と工業団地

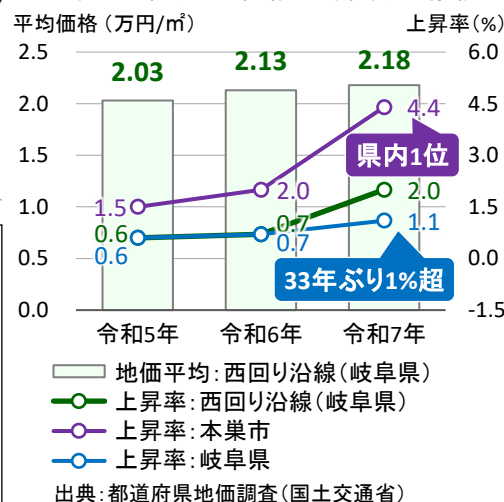


＜岐阜県内市町の工業地地価上昇率＞

順位	自治体名	上昇率※
1位	本巣市	4.4%
2位	垂井町	3.0%
3位	大垣市	2.2%
4位	可児市	2.1%
4位	養老町	2.1%
6位	神戸町	1.4%

※上昇率は自治体内の地価調査地点の上昇率の平均

＜工業地地価(平均価格・上昇率)の推移＞



＜開発が進み産業の活性化が期待される大野神戸IC周辺＞



＜イビデン株式会社 大野事業場開所式の様子＞



- 本巣PAは本巣市の地域拠点である「もとまるパーク」と**連結**。
東海環状自動車道の開通に合わせてカフェ&マルシェをオープン。
- **9月の利用者数は、昨年と比較して2倍に増加**。
- もとまるパークと本巣PAを核とした**にぎわいを創出**。

もとまるパークと本巣PAの一体的な整備による新たなにぎわい拠点の誕生

■一体的に整備されたもとまるパークと本巣PA



<本巣PA>



<もとまるパーク>



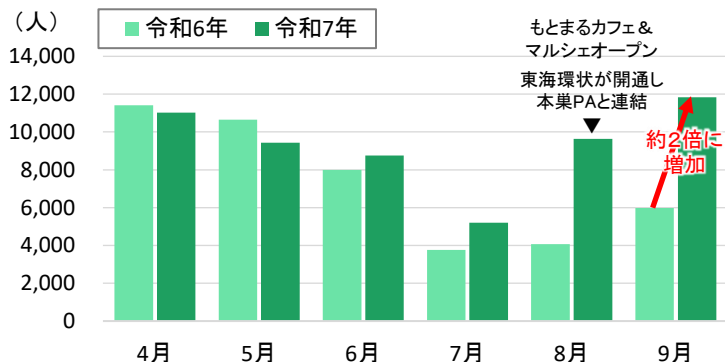
<本巣PA休憩スペース>



本巣PAの整備に地元の学生
(岐阜工業高等専門学校)
が参画



<もとまるパークの利用者数の推移>



※令和7年8月は、開通記念プレイベント「もとすまいるウォーク」の参加者数を含む
※本巣PAからの利用者数は含まれていない
出典: 本巣市提供資料

《もとまるパーク管理運営者の声》

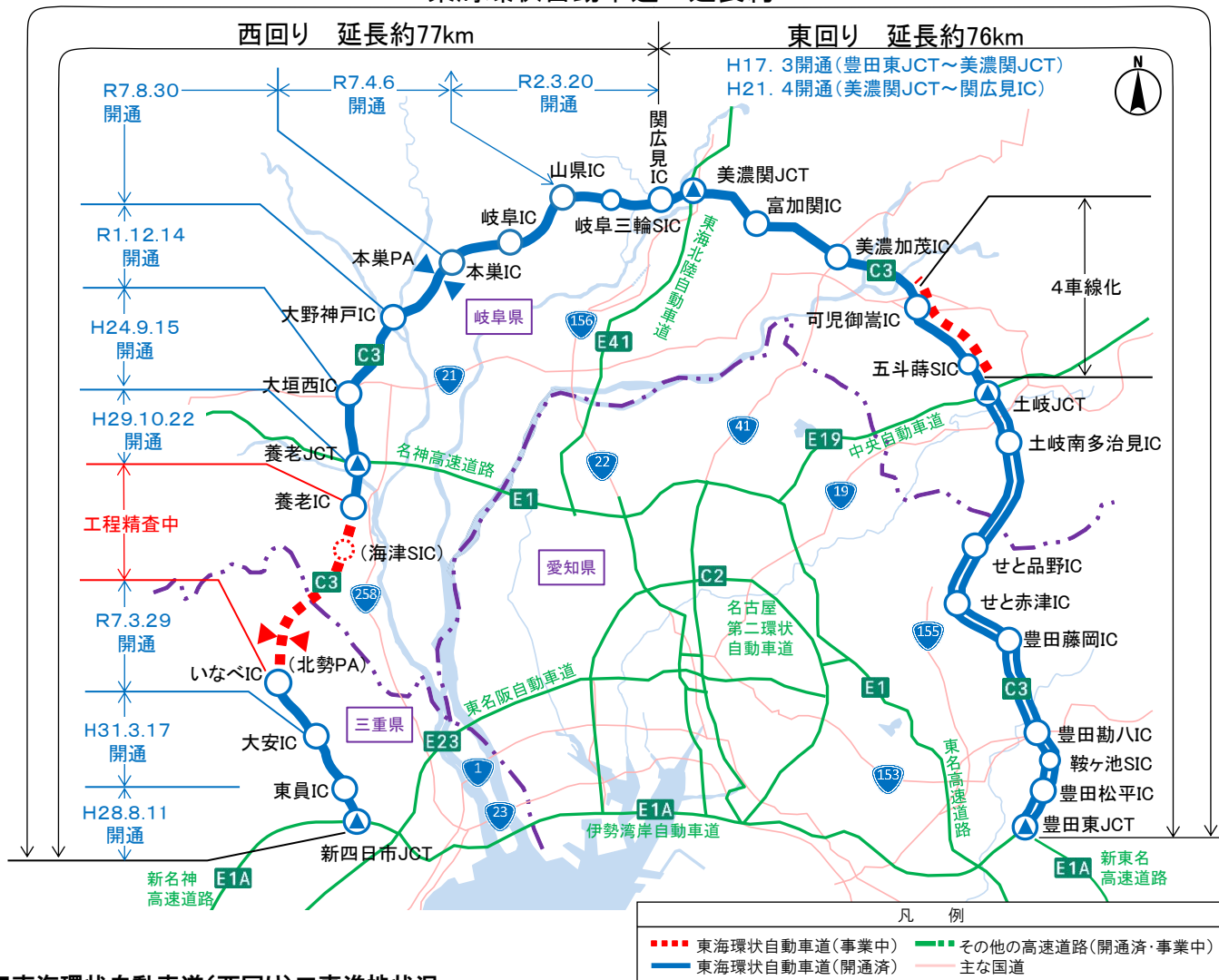
- ・高山方面行きの**高速バスが東海環状道を通行及び本巣PAで休憩**できるようになったこともあり、**外国人のお客が増加**しました。
- ・また、大型トラックの運転手の方々には、シャワールームを利用いただくとともに、岐阜県のお土産を購入いただくなど、**地域一帯の相乗効果**につながっています。



出典: 国土交通省ヒアリング調査(令和7年9月)

- 東海環状自動車道では、今回の開通に引き続き、残る区間においても1日も早い開通を目指して事業を進めております。
- 更なる高速道路ネットワークの拡充により、中京圏のものづくり産業を支援します。

東海環状自動車道 延長約153km



■東海環状自動車道(西回り)工事進捗状況

養老IC～いなべIC(工程精査中)



路線図、工事状況写真ともに、()書きのIC名称は仮称